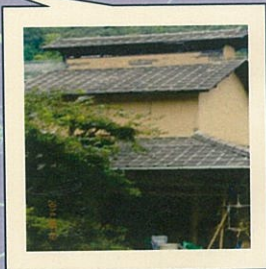
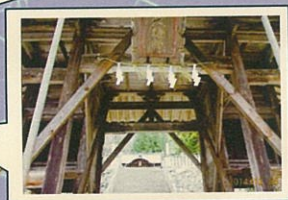
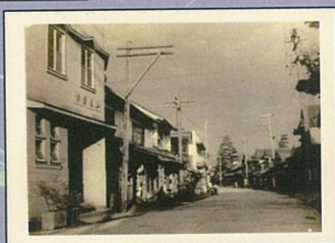
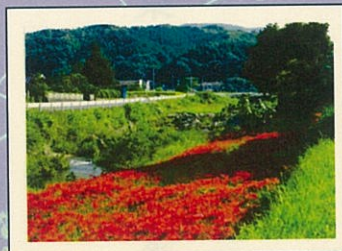


団体名		
聞き書き人の会	代表者 文屋 泉	記載者 文屋 泉
所在地(市区町村名のみ) 岡山市		
活動目的	人や地域の歴史を、聞き書きを通して、後世に伝える事を旨とする。	
団体の紹介		
2011年	発足 県立図書館で毎月第2金曜日2時より例会	
2012年	会報誌「聞く、書く。」創刊号発行	
2013年	会報誌「聞く、書く。」2号発行「足守聞き書きボランティア養成講座」協力	
2014年	会報誌「聞く、書く。」3号発行「聞き書き講演会」開催 「矢掛聞き書きボランティア養成講座」協力	
助成を受けての活動内容		
平成26年 10月18日(土)、岡山県立図書館で、聞き書き講演会を開催した。		
第1部では、全国を聞き書き作家として、聞き書き作品を発表しながら、聞き書きの普及に努めている小田豊二氏を講師に迎え、聞き書きの意義や全国の聞き書きをしている団体の活動をお話いただいた。		
第2部では、県内で聞き書きの活動をしている3団体を迎え、トーク・セッションを開催した。		
テーマは「聞き書きと地域づくり」で、備中聞き書き実行委員会・足守公民館・矢掛聞き書きボランティア養成講座の3団体の代表がパネラーとして参加し、小田氏を交え意見交換した。		
講演会PRのため、チラシを5000枚作成。ラジオ出演2回・新聞による通知もした。		
当日参加者は36名、アンケートによるとアンケート提出の29名全員が大変良かったに○を付けていた。		
「聞き書きの意義魅力が良く分かった」「聞き書きをやってみよう」等の声を聞く事が出来た。		
5月より、矢掛町立図書館で「聞き書きボランティア養成講座」を開いた。矢掛町立図書館の呼びかけもあり、7名が受講することになった。		
聞き書きの意義や、取材の仕方・テープ起こし・文章化などを学び、実際に矢掛町7地区のお年寄りに図書館に来てもらい、お話を聞いた。		
矢掛の自然・文化・行事・特産物・町並みについて、聞くことができ、一年間の総括として聞く書き集「やかげ」創刊号を発行した。話し手のお年寄りには随分喜ばれた。		
聞き書き集200冊は、地元の協力者・高梁川流域図書館・公民館・小・中・高校に配布して、矢掛の魅力を再発見してもらい地域づくりの一助にしようことにした。		
今後の活動の課題点		
矢掛だけでなく、他の地域にも聞き書きを広めていきたい。		
聞き書きをしている他団体と協力して、地域の教育・文化・福祉の分野に、聞き書きを広めていきたい。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)		
聞き書き人の会代表 文屋 泉 sinsen13@nifty.com 0866-82-0691		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

聞き書き集

やかげ



創刊号

牟婁町立図書館「聞き書きボランティア養成講座」・編